真空エジェクタバリエーション

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				Zł	(2			ZQ		
特長	হ্য-	-ズ				P.55				
フズル径(mm)	特長	Ę	エジェクタ ニホールド	でより、吸込 共に省配線に	み流量を増 こ対応。バル	加。単体、マ ブは自己保				
最大吸込流量[L/min(ANR)] 29 44 61 67 5 10 22 変気消費量[L/min(ANR)] 24 40 58 90 14 23 46 2	真空ポンプシス	テム						•		-
空気消費量[L/min(ANR)] 24 40 58 90 14 23 46 4 6 0 <td< td=""><td></td><td></td><td>0.7</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>1.5</td><td>0.5</td><td>0.7</td><td>1.0</td><td></td></td<>			0.7	1.0	1.2	1.5	0.5	0.7	1.0	
2 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6			29	44	61	67	5		22	
### 15 10 13 16 17 18 18 19 19 19 19 19 19	空気消費量[L/m	in(ANR)]	24	40	58	90	14	23	46	
6		2						•	•	
8 10 1 13 1 16 1 16 1 16 1 16 1 16 1 16 1		4						•	•	
10		6					•	•		
13		8					•	•		
16		10						•		
※ 80	\ **	13						•	•	
※ 80	応	16								
※ 80	パ	20								
※ 80	ツ ド	25	•	•					•	
※ 80	- 径	32	•	•					•	
※ 80	の目	40								
※ 80	,安、	50								
80	(mm) **	63								
125	^	80				•				
150		100								
200 250		125								
250		150								
バルブ付 フィルタ付 サイレンサ付 マニホールド付 真空圧力スイッチ アナログ出力 単体・幅寸法(mm) ■		200								
フィルタ付 ● ● サイレンサ付 ● ● マニホールド付 ● ● 真空圧力スイッチ 戸ジタル表示 ● アナログ出力 ● (圧力センサ) ● 単体・幅寸法(mm) 15 10		250								
サイレンサ付 ● ● ● マニホールド付 ● ● 真空圧力スイッチ アナログ出力 ● ● ● 単体・幅寸法(mm) 15 10								•		
マニホールド付 ● ● 真空圧力スイッチ デジタル表示 ● アナログ出力 ● (圧力センサ) ● 単体・幅寸法(mm) 15 10	フィルタ付							•		
真空圧力スイッチ ラジタル表示 アナログ出力 (圧力センサ) 単体・幅寸法(mm) 15	サイレンサ付						•			
真空圧力スイッチ デジタル表示 ・ アナログ出力 ・ (圧力センサ) 単体・幅寸法(mm) 15 10	マニホールド付							•		
アナログ出力 ● (圧力センサ) 単体・幅寸法(mm) 15		スイッチ出力					•			
単体·幅寸法(mm) 15 10	真空圧力スイッチ						•			
				●(圧力	センサ)			•		
単体·質量(g) 81 109	単体·幅寸法(mn	1)								
	単体·質量(g)			8	1			109		

[※]エジェクタ1台に対してパッド1個の使用を基準としており、適応サイズは目安となっております。 配管条件・希望タクト等により最適パッドサイズが異なる場合がありますので、必ずカタログ記載選定方法を確認して正式選定を行ってください。

		70				-	Ъ		-	
		ZR					В		Z	
á	STATE OF THE PARTY			P.131	1000			P.181		P.207
み合せ; ダブル	が可能。 ソレノイ	†により! ドによる 対応可能	自己保持		高速応答 真空用圧 同時コピ	、省エネ、 カスイッラ 一可能。	小形・軽量 F付、最大	量。 10台まで	3段ノズル構造によっデジタル真空スインきの選択が可能。	る吸込流量増加。 ツチ、真空圧力計付
1.0	1.3	1.5	1.8	2.0	0.3	0.4	0.5	0.6	1.2	1.2×2
25	42	63	74	95	2	3.5	4.5	7	100	200
53		102		194	3.5	6.5	10	18	63	126
					•		•		•	•
							!			
							<u> </u>			
							; ;	; ;		
							!	!		
							!			
			•				1			
		!		•		!	!	!		
		<u> </u>	i !			<u> </u>	i !			
						1				
									•	
		•								_
									•	•
									•	•
		31					0		36	40
		275				4	6		600	800

真空エジェクタバリエーション

					ZH				7	U
۶ ۷-	- ズ		0			6		2.221		P.261
特長	Į	接続(はワン	タッチ	とねじ	込みの	組合も	: が可	真空ボートと供給ボー 配管が容易。	へが一直線上にあるため
真空ポンプシステ	テム									
ノズル径(mm)		0.5			1.3		1.8	2.0	0.5	0.7
最大吸込流量[L/		6	12	26		58	76	90	7	12
空気消費量[L/m	in(ANR)]	13	27	52	84	113	162	196	14	29
	2								•	
	4	•								
	6	•								
	8								•	
	10	•			•				•	•
	13	•			•	•	•	•	•	•
適	16				•					•
パ	20									•
ッド	25				•					
径	32									
စ္ခ	40									
安安	50					•				
適応パッド径の目安(m※	63									
*	80									
	100									
	125									
	150									
	200							_		
	250			!						
										i
フィルタ付										
	サイレンサ付									
マニホールド付										
, _a, will										
真空圧力スイッチ	スイッチ出力									
共工ルカヘイ ノナ	アナログ出力									
単体·幅寸法(mm	14~22						12.8			
	1)				~23.					7
半冲·貝里(g)	単体·質量(g)			5	~23.	3				

エアサクションフィルタバリエーション

		ZF	A		ZF	В				ZFC			
	シリーズ	To loo	P276				P.279	P.281					
	特長	プリーツ状エレ ろ過面積が大き マニホールド		360° £	- ューブ 自由自在 ッチ管約	0	方向は		DUTのスタッチ*			管。	
144	ねじ込み	1/8	1/4	_	<u> </u>	_	-	_	_	_	_	-	
接続口径	ワンタッチ管継手 適用チューブ外径(ミリ)	_	_	4	6	8	10	4	6	8	10	12	
流量[L	_/min(ANR)]	50	200	10	30	50	75	10	20 30	70	80	100	
ろ過度	!(μm)	3	0		30					5			



真空用フィルタ **AFJ** Series P.779



サクションフィルタ **ZFC050** ▶ P.272

真空パッドバリエーション ZP3/ZP3E/ZP2/ZPシリーズ

パッド径一覧 ☆:ZP3シリーズ ★: ZP3Eシリーズ ●: ZP2シリーズ ○: ZPシリーズ パッド 形状 記号 パッド形状 2 3 3.5 4 5 7 8 9 11 14 15 0.8 6 10 13 U \bigcirc 0 **●**注) MU 平形 EU **●**注 ΑU 平形リブ付 C \bigcirc \bigcirc ☆ ☆ UM ☆ ₩ ☆ 平形溝付 ベロウ形溝付 BM 0 薄形 UT 0 薄形リブ付 CT \bigcirc \bigcirc <u>Q</u> В **●**注) ベロウ形 ●注 **一**注 MB ZJ 深形 D 0 ノズルパッド AN フラットパッド MT (注) ●注 4×10 5×10 6×10 4×20 5×20 6×20 4×30 5×30 6×30 8×20 W 8×30 長円形 2×4 3.5×7 4×10 U н HT 高荷重パッド HB ベロウ形 HW 長円形(吸着跡対策パッド Н ※関連パッド スポンジパッド s 樹脂 アタッチメント ボールスプライン U バッファ付パッド н 高荷重 首振りパッド

※非接触チャック オーダーメイド

HB

注) ZP2シリーズはブラスト仕様になります。

※ZP3シリーズはø1.5~ø16までのパリエーションになります。その他のサイズ、形状が必要な場合はZP, ZP2シリーズから選定ください。

ZP 掲載	ZP2 掲載	ZP3E 掲載	ZP3 掲載	パッド 形状																	 ド径
ページ	ページ	ページ	ページ	記号	340	300	250	150	125	100	80	63	50	46	40	32	30	25		2	
P.637		_	P. 324	U	_	_	_	_	_	_	_	_	0	_	0	0	_	0	0		0_
_	P. 529	_		MU	_	_	_			_	_			_			_		_	_	_
_	P.535			AU	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_
2.637	P. 528	_	_	С	_	_	_	_		_	_	_	0	_	0	0	_		0	_	0
_	_	P. 404	P. 324	UM	_	_	_	_	*	*	*	*	*	_	*	*	_	_	_	_	☆
_	_	P. 404	_	вм	_	_	_	_	*	*	*	*	*	_	*	*	_	_	_	_	_
	P. 528 P. 537	-	-	UT	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	•	•	0
.637		-	-	СТ	_	_	_	_	_		_	_	_	_		_	_	_	_	_	0
	P. 528	-	P. 324	В	_	_	_	_	_	_	_	_	0	_	0	0	_	0	0	_	×,O
_	P. 540	_	_	J	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	● 注)	● 注)	_	_	•
_	P. 541	_	_	МВ		_	_	_	_		_	_	_	_		_	_	_	•	_	_
_	P. 543	_	_	ZJ	_	_	_	_	_	_	_	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_
.637		_	-	D	_	_	-	-	_	_	_	_	_	_	0	_	_	0	_	_	0
_	P. 536	_	_	AN	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_		- 2001		_	_
_	P. 538	_	_	МТ	_	_	_	_	-	_	_	-	_	_	_	_	● ^{注)}	● ^{注)}	● ^{注)}	_	_
-	P. 550	-	-	W	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
.637	-	_	_	U																	
.582	P. 566	_	-	Н	•	•	_	-	0	0	0	0	0	_	0	•	_	_	_	_	_
_	P. 566	_	-	нт	_	_	•	•	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
.582	P. 568	_	-	НВ	_	_	_	•	0	0	0	0	0	_	0	•	 30×50	_	_	_	_
	P. 569	_	_	HW	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	0	_	_	_	_
	P. 560	_	_	U 	_	_	_	-	_	_	_	_	•	_		•	_	•	_	_	
	P. 561	_	_	Н	_	_	_		•			•	•	_		_		_	_	_	_
-	P. 563	_		S K										_		_			_		_
	P.557	_	_	U		_	_	_		_	_		_	_		_	_	_	_		_
	P.570	_	_	Н	_	_	_	_	•					_		_	_			_	_
									_	_			_		_			_			

■上記以外の製品





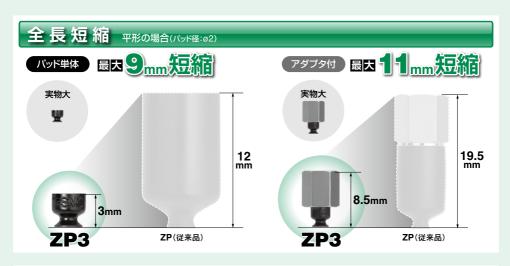


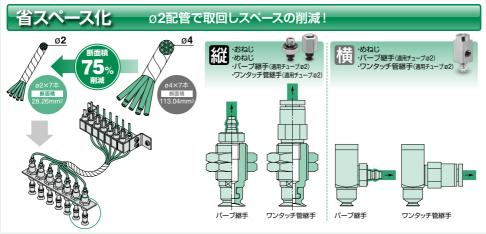


サクションアシスト バルブ···P.627



_ **真空パッド zP3**シリーズ







ZP3シリーズ 真空パッド

充実の機能

◎離脱性向上

吸着面のブラスト処理

微小な凹凸により接触部の 離脱性を向上させます。

ワークとの接触部を少なくし、 離脱性を向上させます。



◎抜け防止機構

アダプタとの 取付け形状の 見直しにより 抜け防止を強 化しました。



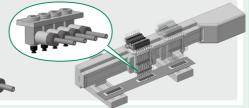












バッファボディのコンパクト化

○全長短縮

※横方向真空取出形の場合



パッド径ø8、平形、ワンタッチ管継手付

ZP3	
ストローク	全長(mm)
3	40
6	46
10	56
15	59
20	66.5
25	_

ZP	
ストローク	全長(mm)
3	_
6	78.5
10	109.5
15	114.5
20	_
25	124.5

◎ショートストローク対応:3mm追加



バッファストローク

(※ブッシュ入り)

パッド径	バッファ仕様	7	ストロ	1ーク	(mm)
ハット住	ハッファ正塚	3	6	10	15	20
ø1.5, ø2, ø3.5	回り止めなし、回り止め付	•	•	- 	_	_
ø4, ø6, ø8	回り止めなし	•	•	•	_	_
ø10. ø13. ø16	回り止めなし、ブッシュ入り	_	_	-		
210, 210, 210	回り止め付	•	•	•	•	•

充実の配管バリエーション

おねじ



めねじ



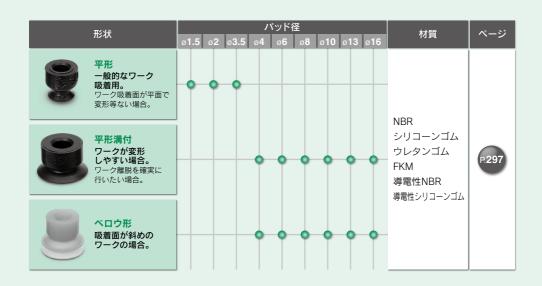


ø2配管に対応!





真空パッド ZP3シリーズバリエーション





ZP3シリーズバリエーション 真空パッド

真空取出方向	バッファの有無	真	空取出口	ページ
		おねじ	M3, M5	
	バッファなし	めねじ	M3, M5	
	(アダプタ付)	バーブ継手	ポリウレタンチューブø2 ソフトナイロン・ ポリウレタンチューブø4, ø6	P.326
ZP3-T		ワンタッチ管継手	ø2, ø4, ø6	
縦	バッファ付 ストローク	めねじ	M3, M5	
, #	3mm 6mm	バーブ継手	ポリウレタンチューブø2	2000
	10mm	ハーノ終 于 	ソフトナイロン・ ポリウレタンチューブø4, ø6	P.338
ヹ ゅ ゅ	15mm 20mm	 ワンタッチ管継手 	ø2, ø4, ø6	
横		めねじ	M3, M5	
	バッファなし	バーブ継手	ポリウレタンチューブø2	
	(アダプタ付)	ハーノ終 于 	ソフトナイロン・ ポリウレタンチューブø4, ø6	P.348
ZP3-Y		ワンタッチ管継手	ø2, ø4, ø6	
横帆船	バッファ付 ストローク	めねじ	M3, M5	
	3mm 6mm	バーブ継手	ポリウレタンチューブø2	D354
	10mm 15mm	/ \ ⁻ / 	ソフトナイロン・ ポリウレタンチューブø4, ø6	P.354
ZP3-Y	20mm	フンタッチ管継手	ø2, ø4, ø6	



真空パッド ZP3Eシリーズ

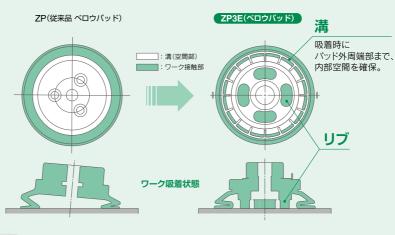
吸着姿勢の安定化

吸着面に溝とリブを設け、面全体で吸着。



■リブによりワーク搬送時の傾きを低減。





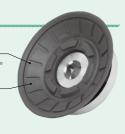
離脱性向上

溝付

吸着面の凹凸により、ワークとの密着を抑制。離脱性が向上。

ブラスト処理

吸着部に細かな凹凸を形成し、ワークの離脱性を向上。



取付ねじ削減



分別廃棄が可能

パッドゴム部と金属部の 分離が可能。

金属部品とゴム部品を 完全に分離



吸着跡対策

吸着跡をきらうワークに対応。





	ZP(彷	(来品)	ZP	3E
パッド径	吸込口径	断面積(mm²)	吸込口径	断面積(mm²)
ø32	_	_		
ø40	ø6	28.3	ø 8.4	55.4
ø50	90	20.0		
ø63	ø8	50.2		
ø80	90	30.2	ø16.4	211
ø100	ø10	78.52	\$10.4	211
ø125	210	70.02		

首振パッドを軽量化 質量最大 290g減 内部構造・材質の見直しで軽量化を実現。 ※記載質量のパッド材質は、NBRになります。

	ZP2 Series 平形	ZP3E Series 平形溝付
パッド径	質量(g)	質量(g)
ø32	_	56
ø40	91	57
ø50	110	75
ø63	230	150
ø80	270	160
ø100	430	190
ø125	560	270

おねじ/直接取付を追加

直接 取付

●高さ低減

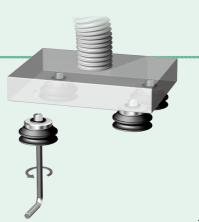
ø8

↑ 六角レンチで締め込むだけの簡単な取付方法



標準タイプ





真空パッド ZP3Eシリーズバリエーション

パッド単体バリエーション







ZP3Eシリーズバリエーション 真空パッド

アダプタ付バリエーション





真空取出方向 取付方法	取付接続 ねじ径	バッファの 有無	ページ	<u> 真空取出方向</u> 取付接続 バッファの マージ ねじ怪 有無
試定おねじ/直接取付ZP3E-T□□□-□	M10 M16		P.408	が おねじ/直接取付 M6 M12 ZP3E-TF□□□-□
おねじ/ブレート接続 ZP3E-T□□□-□	M14 M16	バッファなし	P.408	部 おねじ/ブレート接続 M14 バッファなし P.436 ZP3E-TF□□□-□
が あねじ取付 ZP3E-T□□□-□	M8 M10 M12 M18		P.408	数ねじ取付 M8 M12 P436
横 おねじ取付 ZP3E-Y □□□-□	M14 M16		P.420	横 おねじ取付 M14 M16 P449
横 めねじ取付 ZP3E-Y□□□-□	M8 M12	バッファなし	P.420	横 めねじ取付 M8 M12 ZP3E-YF□□□-□
が おねじ取付 ZP3E-T□□□JB□	M18	バッファ付 ストローク	P.428	おねじ取付 P.458 ア458 ア458 バッファ付 M18 ストローク
横 おねじ取付 ZP3E-Y□□□JB□	M22	· 10mm · 30mm · 50mm	P.432	M22

真空パッド ZP2シリーズバリエーション

バリエーション		パッド 形状 記号	形状	ッド 径	アダプタ形状	ページ
小形パッド ●平形 一般的なワーク吸着用。 ワーク吸着面が平面で変形等のない場合。	単体	U	平形	ø 3, ø 4		
● 平形リブ付ワークが変形しやすい場合。ワーク離脱を確実に行いたい場合。● 薄形ワークが変形しやすい場合。	単体	С	平形リブ付	ø 6 , ø 7 , ø 8		P.528
●ベロウ形 吸着面が斜めのワークの場合。	単体	UT	薄形	ø 5 , ø 6	ンゴール ZPシリーズ 共通アダプタ	.020
	単体	В	ベロウ形	ø 6 , ø 8		
低寸法仕様パッド ●高さ方向の省スペース化に対応。	単体アダプタ付	MU		ø2, ø3.5, ø4 ø5, ø6, ø8 ø10, ø15		P.529
	単体アダプタ付	EU	平形	ø2, ø4, ø6 ø8, ø15		P.532
	単体	AU		ø2, ø3, ø4 ø6, ø8	_	P.535
ノズルパッド ●小型部品(ICチップ等)の 吸着に対応。	単体 アダプタ付	AN	ノズル形	ø 0.8 , ø1.1		P.536
薄形パッド ●薄いシート、ビニール等のやわら かいワーク吸着に対応。吸着時の 「しわ」「ワーク変形」を抑えます。	単体	UT	薄形 (スカート部)	ø5, ø6, ø11 ø14, ø18 ø20	ZPシリーズ 共通アダプタ	P.537
フラットパッド ●腰のあるシート、フィルム等の吸 着に対応。吸着時のワークフラッ ト面の変形を抑えます。	単体アダプタ付	мт	薄形 (溝付)	ø10, ø15 ø20, ø25 ø30		P.538
ベロウパッド ●バッファ(スプリング方式)を使用 するスペースがない場合。吸着面 が斜めのワークの場合。	単体	J	ベロウ形 (多段タイプ)	ø6, ø9, ø10 ø14, ø15 ø16, ø25 ø30	ZPシリーズ共通アダプタ	P.540
3	単体アダプタ付	МВ		ø4, ø6, ø8 ø10, ø15 ø20		P.541
	単体	ZJ	ベロウ形	ø2, ø4, ø5 ø6, ø40, ø46	_	P.543
16	単体アダプタ付			ø15, ø20 ø30, ø40 ø46		P.544

ZP2シリーズバリエーション 真空パッド

バリエーシ	ョン	パッド形状記号		ッド	アダプタ形状	ページ
ブラスト仕様パッド ●ブラスト処理を施すことで吸着面に 細かな凹凸を形成。ワークの離脱性 が向上。	単体	記号 U	平形	径 ø 4		
	単体	С	平形リブ付	ø 6 , ø 8		P.528
	単体	В	ベロウ形	ø 6 , ø 8		
	量单体	J	ベロウ形 (多段タイプ)	ø10, ø15 ø25, ø30	ZPシリーズ 共通アダプタ	P.540
	単体アダプタ付	мυ	平形	ø2, ø3.5, ø4 ø5, ø6, ø8 ø10, ø15		P.529
	単体アダプタ付	EU	平形	ø 2 , ø 4 , ø 6		P.532
	単体アダプタ付	мт	薄形 (溝付)	ø10, ø15 ø20, ø25 ø30		P.538
	単体アダプタ付	мв	ベロウ形	ø4, ø6, ø8 ø10, ø15 ø20		P. 541
長円形パッド ●吸着スペースが限られているワーク に対応。	単体			3.5×7		P.550
	アダプタ付: 真空取出方向図			4×10 5×10 6×10		P.551
	バッファ付: 真空取出方向図	w	長円形	4×20 5×20 6×20 8×20		P.552
. 0	アダプタ付: 真空取出方向[<u>陽</u>			4×30 5×30 6×30	·	P. 554
	バッファ付: 真空取出方向間			8×30		P.556
ボールスプライン バッファ付パッド ●バッファ部にボールスプ ラインガイドを使用。	バッファ付: 真空取出方向 <mark>图</mark>	U	平形	ø2, ø4 ø6, ø8	ZPシリーズ 共通アダプタ	P.557

17

真空パッド ZP2シリーズバリエーション

バリエーション		パッド 形状 記号	形状	ッド 径	アダプタ形状	ページ
吸着跡対策パッド ●吸着跡をきらうワークに対応。 標準パッド 吸着跡対策パッド	単体	U	平形	ø4, ø6, ø8 ø10, ø16 ø25, ø32 ø40, ø50	ZPシリーズ 共通アダプタ	P.560
バッドの跡がくっきり 「バッドの跡がつきにくい ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単体 日本出了 P.727	н	高荷重形 (平形リブ付)	ø40, ø50 ø63, ø80 ø100, ø125	_	P.561
樹脂アタッチメント ●吸着跡対策。ゴムとワークの張付き防止対策。	単体 パッド付	_	ベロウ形	ø6, ø8 ø10, ø13 ø16, ø20 ø25, ø32	ZPシリーズ 共通アダプタ	P.562
スポンジパッド ●凹凸のあるワークの吸着に対応。	単体	S	スポンジ	ø4, ø6 ø8, ø10 ø15		P.563
高荷重パッド ●重いワーク、大きなワークに対応。		н	高荷重形 (平形リブ付)	ø32, ø300 ø340		P.566
		нт	高荷重形 (薄形リブ付)	ø 150, ø 250	_	
		НВ	高荷重形 (ベロウ形)	ø 32 , ø 150		P. 568
40		нw	高荷重形 (長円形)	30×50		P.569

ZP2シリーズバリエーション 真空パッド

バリエーシ	ョン		パッド 形状 記号	形状	ッド 径	ページ
高荷重首振りパッド ●傾斜のあるワーク、 湾曲面のあるワークに対応。		アダプタ付: 真空取出方向 <mark>圏</mark>		10 00		P.570
	4)5-3()	アダプタ付: 真空取出方向 <mark>鬫</mark>	Н	高荷重形	ø40 ø50 ø63	P.571
		バッファ付: 真空取出方向 <mark>図</mark>		(平形リブ付)		P.572
) Jumman - 41	バッファ付: 真空取出方向 <mark>∰</mark>				P.574
		アダプタ付: 真空取出方向 <mark>翻</mark>				P.576
		アダプタ付: 真空取出方向 <u>簡</u>	НВ	高荷重形	ø40 ø50 ø63	P.577
		バッファ付: 真空取出方向 <mark>翻</mark>	IIB	(ベロウ形)	Ø80 Ø100 Ø125	P.578
		バッファ付: 真空取出方向 <mark>∰</mark>				P.580

真空パッド ZPシリーズバリエーション/用途別〈パッド/アダプタ〉

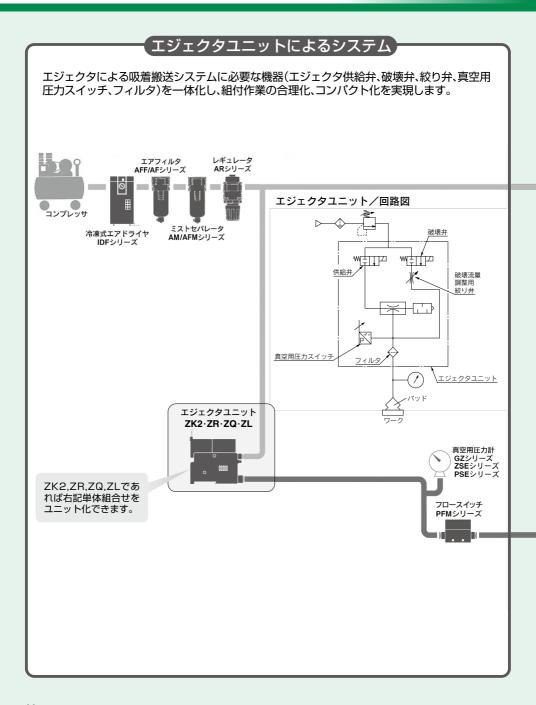
バリエーション	バリエーション			ッド	アダプタ形状	ページ	
7.72 323		形状 記号	形状	径	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		
高荷重パッド ●高荷重形(平形リブ付) ブラウン管 自動車ボディ等、ワーク質量が重い場合や大きい場合に最適。 ●高荷重形(ベロウ形) ・ワークの吸着面が溶曲している場合。 ・ワークの質量が重い場合やワークが大きい場合に最適。	tu eu	н	高荷重形 (平形リブ付)	ø40, ø50	ZP シリーズ	2500	
物口化取应。		нв	高荷重形 (ベロウ形)	ø63, ø80 ø100, ø125	共通アダブタ	P.582	

バリエーショ	וט	備考	ページ
ディスク吸着用真空パッド ●リング形状のワーク(CD, DVDなど)の吸着に使用。 ●パッド本体にペロウズ機構を付加。 ワークへの衝撃を緩和する。		20×25 (ID×OD:PCD 22.5)	P.592
パネル固定用真空パッド ●パネル、ガラス基板等のステージ吸着固定に使用。 ●ペロウズ機構によりワーク傾きに追従。 ガラス基板			P.593
サクションアシストバルブ ●ワークがなくても真空圧力の低下を抑制。 ●ワーク変更による切換作業が不要。 ■エジェクタ1台で複数の真空パッドを使用可能。		パッド側接続ねじサイ.	P.627
ア 2/ZP Series アダプタ/バッファ 適応パッド一覧		ブプタAss'y品番 ·······	P.611
PP2 Series 取付用アダプタ品番 ····································	P.602 ZP2 Series J	ッファ Ass'y品番·······	P.613
『P Series 取付用アダプタ品番 ····································	יייי P.607 ZP Series אין ביי	·ファ Ass'v品番······	P.622

関連機器



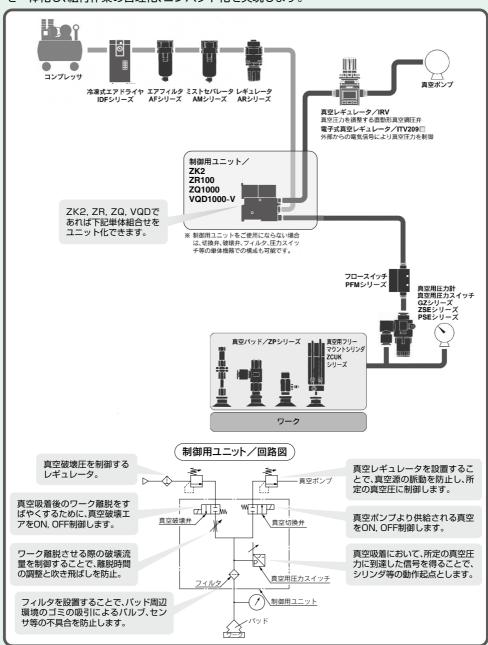
エジェクタによる吸着搬送システム



単体機器によるシステム エジェクタ等の機器を単体で構成する事により、回路構成や取付場所が自由に選べる フレキシビリティのあるシステム構成が可能です。 エジェクタへの供給エア 真空吸着後のワーク離脱をすば をON, OFFし真空発生 やくするために、真空破壊エア を制御します。 をON, OFF制御します。 ワンタッチ管継手 供給弁 破壊弁 ワーク離脱を行う エジェクタへの 圧縮空気を制御 圧縮空気を制御 絞り弁 (流量制御弁) エジェクタ ワーク離脱させる際の破 ZHシリーズ ZUシリーズ 壊流量を制御することで、 離脱時間の制御と吹き飛 ばしを防止。 真空用圧力計 真空用圧力スイッチ GZシリーズ ZSEシリーズ PSEシリーズ 真空吸着において、 フィルタを設置すること 所定の真空圧力に到 で、パッド周辺環境のゴ 達した信号を得るこ ミの吸引によるバルブ、 真空用 とで、シリンダ等の動 エジェクタ、センサ等の フロースイッチ 圧力スイッチ 作起点とします。 不具合を防止します。 ZSシリーズ ZSEシリーズ PSEシリーズ PFMシリーズ 真空圧力を検知し 真空用フィルタ 吸着確認 真空用圧力計 ZFシリーズ 真空用圧力スイッチ AMJシリーズ GZシリーズ ZSEシリーズ 吸込んだ空気中 のダストを除去 PSEシリーズ 真空パッド/ ZP3シリーズ ZP2シリーズ 真空用フリー マウントシリンダ ZCUK ZPシリーズ シリーズ ワーク

真空ポンプによる吸着搬送システム

真空圧力を制御するのに必要な機器(真空切換弁、破壊弁、絞り弁、真空用圧力スイッチ、フィルタ)を一体化し、組付作業の合理化、コンパクト化を実現します。



真空用機器

真空吸着方式の特長

機種選定方法

2 真空パッドの選定方法	P.26
●真空パッドの選定手順	
●真空パッド選定の際のポイント	
A. 理論リフトカ	
B. 真空パッドにかかる、せん断力とモーメント	
●リフトカと真空パッド径の求め方	
①理論リフトカの求め方	
●真空パッドの形状	
●真空パッドの材質	
●ゴム材質と特性	
●ゴム材質識別	
●バッファの有無 ●ワークに応じた対応例	
● 真空パッドの耐久性	
3 真空エジェクタ・真空切換弁の選定方法	P.33
●計算式により、真空エジェクタ・真空切換弁のサイズを求める方法	
4 ワーク吸着時の漏れ量の求め方	P.33
●ワークのコンダクタンスがわかる場合の、漏れ量の求め方	
● プープのコンプラフランスがわかる場合の、漏れに重め水の分	
	5.04
5 吸着応答時間の求め方	P.34
●供給弁(切換弁)作動後の真空圧力と応答時間の関係	
●計算式により、吸着応答時間を求める方法	
●選定グラフにより、吸着応答時間を求める方法	
6 真空用機器選定上の注意事項と当社からの提案	P.36
●安全対策	
●真空用機器選定上のご注意	
●真空エジェクタ、ポンプと真空パッドの個数	
●真空エジェクタ選定、使用上のご注意	
●真空エジェクタの供給圧力	
●真空発生のタイミングと吸着確認	
A. 真空を発生させるタイミング	
B. 吸着確認について	
C. 真空圧力スイッチの設定圧力	
●真空機器におけるダスト処理	
(7) 真空用機器の選定例	P.40
●半導体チップの搬送	
8 資料	P.41
●選定用グラフ	
●古中田州田田寺	

●真空吸着システムにおける問題点の対応策(トラブルシューティング)

SMC

●不適合事例

●真空パッドの交換時期について

CONTENTS

P.26

1 真空吸着方式の特長

ワークを把持する方法としての真空吸着システムには、以下のような特長があります。

- 構造が簡単。
- 吸着可能な面があれば対応可能。
- ●正確な位置決めは不要。
- 柔らかい、変形し易いワークにも容易に対応可能。

ただし、以下については注意が必要です。

- ワークを吸着して搬送するため、条件によっては落下する可能性がある。
- ワークの周囲にある液体や異物も吸込まれることがある。
- ◆大きな把持力を得るには、大きな吸着面積が必要。
- 真空パッド(ゴム)の劣化に対する注意が必要。

上記特長を十分に理解し、使用条件に応じた対策をお願いします。

2 真空パッドの選定方法

●真空パッドの選定手順

- 1) ワークのバランスを十分に考慮し、吸着位置とバッドの個数および使用可能なバッドの径(またはバッドの面積)を明確にします。
- 2) 明確にした吸着面積(パッドの面積×個数)と真空圧力から理論リフト力を求め、実際の吊り上げ方法や移動条件による安全率を考慮したリフト力を求めます。
- 3) ワークの質量とリフトカを比較し、リフトカ>ワーク質量であるために必要かつ十分なパッド径(パッド面積)を決定します。
- 4) 使用環境やワークの形状・材質から、パッドの形状と材質、バッファの有無を決定します。

上記手順は、一般的な真空パッドにおける選定手順を示していますので、すべてに適用されるものではありません。最終的には、お客様の責任においてテストを行い、その結果に基づいて吸着条件、使用パッドを決定してください。

●真空パッド選定の際のポイント

A. 理論リフトカ

- ●理論リフトカは、真空圧力と真空パッドの吸着面積で決まります。
- ●理論リフト力は静的条件における数値ですので、実際に使用する場合は使用状態に応じた安全率を見込む必要があります。
- ●真空圧力は、「高いほど良い」ということではありません。真空圧力が高いと逆に不都合が生ずる場合があります。
 - ・真空圧力を必要以上に高くすると、パッドの早期摩耗や亀裂の発生が起こりやすくなり、パッドの寿命が短くなります。 真空圧力を2倍にすると理論リフトカも2倍になりますが、パッド径を2倍にすると理論リフトカは4倍になります。
 - ・真空圧力(設定圧力)が高いと、応答時間が長くなるだけでなく、真空発生に必要なエネルギーも増大します。

例)理論リフトカ=圧力×面積

2倍

パッド径	面積(cm ²)	真空圧力 [-40kPa]	真空圧力 [-80kPa]
ø20	3.14	理論リフトカ 12N	理論リフトカ 25N
ø40	12.56	理論リフトカ 50N	理論リフトカ 100N

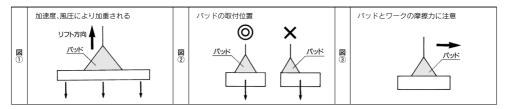
4倍

B. 真空パッドにかかる、せん断力とモーメント

- 真空パッドはせん断力(吸着面と平行方向の力)とモーメントに強くありません。
- ●ワークの重心位置を考慮し、真空パッドにかかるモーメントを最小にしてください。
- ●移動時の加速度はできるだけ小さくするとともに、風圧や衝撃についても考慮する必要があります。移動時の加速度をやわらげる方策を導入すれば、ワークの落下を防止でき安全性が向上します。
- 真空パッドでワークの垂直方向の面を吸着して吊り上げること(垂直吊り上げ)はなるべく避けてください。やむを得ない場合は十分な安全率を見ることが必要です。

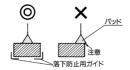
リフトカ、モーメント、水平力

上方にリフトする場合は、ワークの質量だけでなく加速度、風圧、衝撃等を考慮してください。(図①参照) バッドはモーメントに弱いため、ワークのモーメントが発生しない取付けにしてください。(図②参照) 水平吊り上げ作業の場合も、横方向へ移動する際、加速度の大きさや、バッドとワーク間の摩擦係数の大きさによっては、ワークのズレ を生します。横移動の加速度は低くおさえてください。(図③参照)

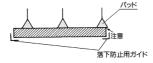


パッドとワークのバランス

パッドの吸着面積は、ワークの表面より大きくしないでください。真空漏れが発生し、吸着が不安定になります。



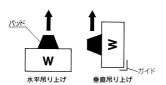
面積の広い板状のものを複数個のパッドで搬送する場合は、バランス良くパッドを配置してください。特に周辺部ははずれやすいので位 置決め等を行ってください。



また、必要に応じて、ワークの落下を防ぐための補助具(例:落下防止用ガイド)を設置してください。

取付姿勢

水平を基本とします。斜めや垂直は極力行わないでください。やむを得ない場合は、ガイドおよび十分な安全率を見ることが必要です。



SMC

●リフトカと真空パッド径の求め方

①理論リフトカの求め方

- ●真空圧力は、吸着後の安定した圧力以下に設定します。
- ◆ただし、ワークに通気性がある場合や、ワークの表面が粗い場合には大気を吸込むため、真空圧力が低下することを考慮する必要があります。この場合は、吸着テストによる確認が必要です。
- ●エジェクタを使用する場合の真空圧力は、-60kPa程度を目安とします。

パッドのリフトカは、計算式および表①理論リフトカ表から求めることができます。

計算式による方法 -

W=P×S×0.1× $\frac{1}{t}$ W: リフトカ(N) P: 真空圧力(kPa)

S:パッドの面積(cm²)

t:安全率 水平吊り上げ:4以上 垂直吊り上げ:8以上 W 水平吊り上げ

パッド



垂直吊り上げ

(基本的にご使用はなるべく お避けください。

理論リフト力表による方法 —

パッド径、真空圧力より安全率を含まない理論リフト力を求めます。

次に、理論リフト力を安全率tで割り、リフト力を求めます。

リフトカ=理論リフトカ÷t

①理論リフトカ表(理論リフトカ=P×S×0.1)

·	atro >	-	1 //2	(*±m / /	. 1 //	1 7070.
18° 111	K ++	1	ブノベイ	E~ E(١.	

ハットサイ	ス(Ø1.5~@	(50)													里位:N
パッドサ	イズ(mm)	ø1.5	ø 2	ø3.5	ø 4	ø6	ø 8	ø10	ø13	ø16	ø 20	ø 25	ø 32	ø 40	ø 50
Sパッドサイ	ズの面積cm²	0.02	0.03	0.10	0.13	0.28	0.50	0.79	1.33	2.01	3.14	4.91	8.04	12.6	19.6
	-85	0.15	0.27	0.82	1.07	2.40	4.2	6.6	11	17	26	41	68	106	166
	-80	0.14	0.25	0.77	1.00	2.26	4.0	6.2	10	16	25	39	64	100	157
	-75	0.13	0.24	0.72	0.94	2.12	3.7	5.8	10	15	23	36	60	94	147
	-70	0.12	0.22	0.67	0.88	1.98	3.5	5.5	9.3	14	22	34	56	87	137
真空圧力	-65	0.11	0.20	0.63	0.82	1.84	3.2	5.1	8.6	13	20	31	52	81	127
kPa	-60	0.11	0.19	0.58	0.75	1.70	3.0	4.7	8.0	12	18	29	48	75	117
	-55	0.10	0.17	0.53	0.69	1.55	2.7	4.3	7.3	11	17	27	44	69	107
	-50	0.09	0.16	0.48	0.63	1.41	2.5	3.9	6.7	10	15	24	40	62	98
	-45	0.08	0.14	0.43	0.57	1.27	2.2	3.5	6.0	9.0	14	22	36	56	88
	-40	0.07	0.13	0.38	0.50	1.13	2.0	3.1	5.3	8.0	12	19	32	50	78

パッドサイズ(ø63~ø340)

パッドサイ	ス(ø 63~ ø	340)								単位:N
パッドサー	イズ(mm)	ø 63	ø 80	ø100	ø125	ø150	ø200	ø 250	ø300	ø 340
Sパッドサイ	ズの面積cm²	31.2	50.2	78.5	122.7	176.6	314.0	490.6	706.5	907.5
	-85	265	427	667	1043	1501	2669	4170	6005	7714
	-80	250	402	628	982	1413	2512	3925	5652	7260
	-75	234	377	589	920	1325	2355	3680	5299	6806
	-70	218	351	550	859	1236	2198	3434	4946	6353
真空圧力	-65	203	326	510	798	1148	2041	3189	4592	5899
kPa	-60	187	301	471	736	1060	1884	2944	4239	5445
	-55	172	276	432	675	971	1727	2698	3886	4991
	-50	156	251	393	614	883	1570	2453	3533	4538
	-45	140	226	353	552	795	1413	2208	3179	4084
	-40	125	201	314	491	706	1256	1962	2826	3630

長円パッド(2×4~8×30, 30×50)

*	10	٨

パッドサイ	イズ(mm)	2×4	3.5×7	4×10	5×10	6×10	4×20	5×20	6×20	8×20	4×30	5×30	6×30	8×30	30×50
Sパッドサイ	ズの面積cm²	0.07	0.21	0.36	0.44	0.52	0.76	0.94	1.12	1.46	1.16	1.44	1.72	2.26	13.07
	-85	0.60	1.79	3.0	3.7	4.4	6.4	7.9	9.5	12.4	9.8	12.2	14.6	19.2	112
	-80	0.56	1.68	2.8	3.5	4.1	6.0	7.5	8.9	11.6	9.2	11.5	13.7	18.0	105
	-75	0.53	1.58	2.7	3.3	3.9	5.7	7.0	8.4	10.9	8.7	10.8	12.9	16.9	98
	-70	0.49	1.47	2.5	3.0	3.6	5.3	6.5	7.8	10.2	8.1	10.0	12.0	15.8	92
真空圧力	-65	0.46	1.37	2.3	2.8	3.3	4.9	6.1	7.2	9.4	7.5	9.3	11.1	14.6	85
kPa	-60	0.42	1.26	2.1	2.6	3.1	4.5	5.6	6.7	8.7	6.9	8.6	10.3	13.5	79
	-55	0.39	1.16	1.9	2.4	2.8	4.1	5.1	6.1	8.0	6.3	7.9	9.4	12.4	72
	-50	0.35	1.05	1.8	2.2	2.6	3.8	4.7	5.6	7.3	5.8	7.2	8.6	11.3	66
	-45	0.32	0.95	1.6	1.9	2.3	3.4	4.2	5.0	6.5	5.2	6.4	7.7	10.1	59
	-40	0.28	0.84	1.4	1.7	2.0	3.0	3.7	4.4	5.8	4.6	5.7	6.8	9.0	53

●真空パッドの形状

●真空パッドには、平形、深形、ベロウ形、薄形、リブ付、長円形等があります。ワークおよび使用環境に対して最適な形状を 選択してください。なお、カタログに記載されていない形状につきましては、当社まで問合せてください。

形状別

パッド形状	用途
平形	ワーク表面が平面で、変形等のない場合。
平形リブ付	ワークが変形しやすい場合や、ワークの離 脱を確実に行いたい場合。
深形	ワーク形状が曲面の場合。
ベロウ形パッド 🌉	バッファを取付けるスペースがない場合 や、ワーク吸着面が斜めになっている場合。
長円形パッド	吸着面の少ないワークや、ワークが長いも ので位置決めを確実に行いたい場合。

パッド形状	用途
首振りパッド	吸着面が水平でないワーク。
バッファ	ワーク高さが均一でない場合や、ワークへ の緩衝が必要な場合。
高荷重パッド	重量物のワーク。
導電性パッド	静電気対策の一つとして、抵抗率を下げた ゴムを使用する。帯電防止用。

●真空パッドの材質

- ワークの形状、使用環境との適合性、吸着跡の影響、導電性等を十分考慮の上、真空パッドの材質を決定する必要があります。
- 材質別の搬送ワーク例を参考に、ゴムの特性(適合性)をご確認のうえ選択してください。

真空パッド/搬送ワーク例

材質別

材質	用途
NBR	段ボール・ベニヤ板・鉄板・その他一般ワーク
シリコーンゴム	半導体・金型成形品取出・薄物ワーク・食品関係
ウレタンゴム	段ボール・鉄板・ベニヤ板
FKM	薬品性のワーク
導電性NBR	半導体の一般ワーク(静電気対策)
導電性シリコーンゴム	半導体(静電気対策)

◎=優…全く、あるいはほとんど影響がない。

○=良…若干の影響はあるが、条件により充分使用に耐える。

△=可…なるべく使わない方がよい。

×=不可…烈しい影響があるため、使用に適さない。

●ゴム材質と特性

	一般名	NBR (ニトリル) ゴム	シリコーン ゴム	ウレタン ゴム	FKM (フッ素ゴム)	CR (クロロブレン) ゴム	EPR (エチレン・ プロピレン ゴム	導電性NBR (ニトリル) ゴム	導電性 シリコーン ゴム	導電性 シリコーン スポンジ	導電性CR スポンジ (クロロブレン スポンジ
	主な特長	耐油性、耐 摩耗性、耐 老化性が 良い。	耐熱性と耐寒性に優れる。	機械強度に優れている。	最高の耐 熱性と耐 薬品性を もつ。	耐候性、耐 オゾン性、 耐 が薬 平性 した性質。	耐老化性、 耐オゾン 性、電気的 性質が良 い。	耐油性、耐 摩耗性、耐 老化性が 良い。 導電性。	高度の耐 熱性に優 れる。 導電性。	断熱性、反 発弾性に 優れてい る。	反発弾性、 遮音性に優 れている。 難燃性であ る。
純二	ゴムの性質(比重)	1.00-1.20	0.95-0.98	1.00-1.30	1.80-1.82	1.15-1.25	0.86-0.87	1.00-1.20	0.95-0.98	$0.4g/cm^3$	0.161g/cm^3
	反発弾性	0	0	0	\triangle	0	0	0	0	×∼△	×∼△
	耐摩耗性	0	×∼△	0	0	0	0	0	×∼△	×	×
配	引裂抵抗	0	×∼△	0	0	0	\triangle	0	×∼△	×	×
配合ゴム	耐屈曲亀裂性	0	×~0	0	0	0	0	0	×~0	×	×
	最高使用温度℃	120	200	60	250	150	150	100	200	180	120
物物	最低使用温度℃	0	-30	0	0	-40	-20	0	-10	-30	-20
選	体積固有抵抗 $(Ωcm)$	_	_	_	-	ı	_	10⁴以下	10⁴以下	4.8×10^{4}	3.8×10^{4}
の物理的性質	熱老化性	0	0	\triangle	0	0	0	0	0	\triangle	\triangle
質	耐候性	0	0	0	0	0	0	0	0	\triangle	\triangle
	耐オゾン性	\triangle	0	0	0	0	0	\triangle	0	\triangle	\triangle
	耐ガス透過性	0	×∼△	×∼△	×∼△	0	×∼△	0	×∼△	×	×
	ガソリン・軽油	0	×∼△	0	0	0	×	0	×∼△	×	×
耐耐	ベンゼン・トルエン	×∼△	×	×∼△	0	×∼△	×	×∼△	×	×	×
溶油剤性	アルコール	0	0	Δ	△~◎	0	0	0	0	Δ	\triangle
剤性 性	エーテル	×∼△	×∼△	×	×∼△	×∼△	0	×∼△	×∼△	×	×
1.7	ケトン(MEK)	×	0	×	×	△~○	0	×	0	×	×
	酢酸エチル	×∼△	\triangle	×∼△	×	×∼△	0	×∼△	\triangle	×	×
	水	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0
耐耐	有機酸	×∼△	0	×	△~○	×∼△	×	×∼△	0	×	×
ア酸ル	高濃度有機酸	△~○	Δ	×	0	0	0	△~○	\triangle	×	×
· カリ性	低濃度有機酸	0	0	Δ	0	0	0	0	0	×	×
性	強アルカリ	0	0	×	0	0	0	0	0	Δ	\triangle
	弱アルカリ	0	0	×	0	0	0	0	0	\triangle	\triangle

- ※掲載の物性、耐薬品性およびその他の数値はあくまで目安としての参考値であり保証値ではありません。
- ・ご使用条件や環境により上記一般的特性は変化する場合があります。
- ・材質を決定される際には、事前に十分な確認・検証を行うよう、お願い致します。
- ・SMCはこのデータの正確さおよびこのデータから生じた損害に対して責任を負いません。

●ゴム材質識別(ZP/ZP2)

一般名	NBR (ニトリル) ゴム	シリコーン ゴム	ウレタン ゴム	FKM (フッ素ゴム)	CR (クロロブレン) ゴム	EPR (エチレン・) プロピレン ゴム	導電性NBR (ニトリル) ゴム	導電性 シリコーン ゴム	導電性 シリコーン スポンジ	導電性CR スポンジ (クロロブレン) スポンジ
ゴム色	黒	白色	茶	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒
識別(点または刻印)	_	_	_	· 緑色1点 · ⑥	· 赤色1点 · ⓒ	· E	·銀色1点	・銀色2点	_	_
ゴム硬度HS(±5°)	A50/S	高荷重以外A40/S 高荷重A50/S	A60/S	A60/S	A50/S	A50/S	A50/S	A50/S	20	15

●ゴム材質識別(ZP3)

一般名	NBR (ニトリル) ゴム	シリコーン ゴム	ウレタン ゴム	FKM (フッ素ゴム)	導電性NBR (ニトリル) ゴム	導電性 シリコーン ゴム
ゴム色	黒	白色	茶	黒	黒	黒
識別(点)	_	_	_	·緑色1点	·銀色1点	・桃色1点
ゴム硬度HS(±5°)	A60/S					

注) ゴム硬度は、「JIS K 6253」による。スポンジ硬度は、「SRIS 0101」による。

●バッファの有無

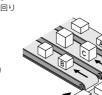
●ワークの高さにばらつきがある場合や、衝撃に弱いワークを吸着する場合(ワークへの緩衝)、パッドへの衝撃を緩和させたい場合はパッファ付としてください。また、回転方向の規制が必要な場合は、回り止め付パッファを選択してください。

B C

(O

パッドとワーク間の距離が一定にならない場合

高さが不揃いのワークの吸着等においてバッドとワークの高さ方向が一定でない場合、スプリング内蔵タイプのバッファ付バッドをご使用ください。パッとワークの緩衝ができます。更に回転方向の規制が必要な場合は、回り止め付のバッファをご使用ください。



●ワークに応じた対応例

・以下のようなワークの場合には、ご注意ください。

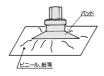
①ワークに通気性や穴がある場合

多孔質のワークや紙など通気性のあるワークを吸着する場合は、ワークが持ち上がるのに必要十分な小径のパッドを選びます。また、空気の漏れ量が多い場合は、吸着力が低下しますのでエジェクタや真空ポンプの能力アップ、配管経路のコンダクタンスを大きくする等の対策が必要です。



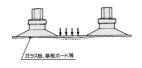
③柔らかいワークの場合

ビニール・紙・薄板等の柔らかいワークを吸着すると、真空圧 力によってワークが変形したり、シワが寄りますので、小形の パッドやリブ付パッドを使用し、さらに真空圧力を低くする必 要があります。



②平板のワークの場合

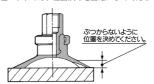
面積の広い、ガラス板、基板ボードなどを吊上げる場合は、風 圧による大きな力が加わったり、衝撃によって波打つことがあ ります。パッドの配置や大きさを考慮する必要があります。



④パッドへの衝撃について

バッドをワークに押し付ける場合、衝撃や大きな力を加えない でください。パッドの変形、亀裂、摩耗が早くなります。バッ ドの押し付けはスカートの変形範囲内か、リブ部等が軽くあた る程度にします。

特に、小径パッドでは、位置決めを正確にしてください。



⑤吸着跡が付く

吸着跡には、代表的に下記のような跡が考えられます。

	吸着前	吸着後	対応策
●ワーク変形(しわ)による跡。	吸着条件 ワーク:ビニール		1) 真空圧力を下げる。 リフト力が足りない場合はパット数量を増やす。 2) パッド中心部空間(面積)が少ないパッドを選定する。
	真空パッド: ZP2	OCS 真空圧力:-40kPa	
●バッドの材料であるゴム材料 に含まれる成分がワークに移 行したためによる跡。	吸着条件 ワーク:ガラス		1) 吸着後対策NBR 2) ZP2シリーズ ・フッ素樹脂焼付パッド ・樹脂アタッチメント を使用する。
	真空パッド:ZP2	OCS 真空圧力:-40kPa	
●ワーク表面の凹凸により、パッドの材料であるゴムが磨耗 し、ワークの凹凸に残る跡。		(3)	1) ZP2シリーズ ・フッ素樹脂焼付パッド ・樹脂アタッチメント を使用する。
	吸着条件 ワーク:樹脂板(素 真空パッド: ZP2	長面粗さ 2.5μ) OCS 真空圧力 :−80kPa	

真空パッドの耐久性

- 真空パッド(ゴム)の劣化に対する注意が必要です。
- 真空パッドを使用していくと、
 - 1) 吸着面の摩耗。
 - パッド外形の小径化、ゴム部同士の接触部の貼付き(ベロウパッド)
 - 2) ゴム部のヘタリ(吸着面スカート部、屈曲部等)
- 等が生じます。
- ※発生時期に関しては、ご使用条件(高い真空圧力/吸着時間(真空保持)等)により早期に発生する場合もあります。
- ●パッド交換の目安として、摩耗による外観変化、到達真空圧力の低下、搬送タクトの遅れ等から、お客様にて交換時期を判断してください。

3 真空エジェクタ・真空切換弁の選定方法

●計算式により、真空エジェクタ・真空切換弁のサイズを求める方法

吸着応答時間を達成させるための平均吸込流量 -

 $Q = \frac{V \times 60}{T} + Q_L$

Q:平均吸込流量L/min(ANR)

- I1

V:配管容積(L)

 $T_2=3\times T_1$

 T_1 : 吸着後の安定した圧力Pvの63%に到達する時間(sec) T_2 : 吸着後の安定した圧力Pvの95%に到達する時間(sec)

OL: ワーク吸着時の漏れ量L/min(ANR)…(注1)

最大吸込流量 -

 $Qmax = (2\sim3) \times QL/min(ANR)$

〈選定手順〉●エジェクタの場合

上記のQmaxより大きい最大吸込流量のエジェクタを選定します。

直動切換弁の場合

コンダクタンス $C = \frac{Qmax}{55.5} [(dm^3/(s \cdot bar))]$

※上式コンダクタンスCより大きいコンダクタンスのバルブ(電磁弁)を関連機器(P.793)よりご選定ください。

注1) QL: ワーク吸着時に漏れがない場合はQとしてください。

ワーク吸着時に漏れがある場合は、「4.ワーク吸着時の漏れ量の求め方」に従い漏れ量を求めてください。

注2) チューブの配管容積は、8. 資料「チューブ内径別配管容積(選定グラフ②)」からも求めることができます。

【4 ワーク吸着時の漏れ量の求め方

ワークの種類により、パッドがワークを吸着時にも大気を吸い込み、パッド内の真空圧力が低下して吸着に必要な圧力を得られない場合があります。

このようなワークを吸着する場合には、ワークからの漏れ量を考慮して エジェクタ、真空切換弁のサイズを選定する必要があります。





表面が粗いワーク

●ワークのコンダクタンスがわかる場合の、漏れ量の求め方

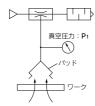
漏れ量 QL=55.5×CL

QL:漏れ量L/min(ANR)

CL: ワークとパッド間の隙間および、ワークの開口部のコンダクタンス [(dm³/(s·bar)])

●吸着テストによる漏れ量の求め方

下図の様にエジェクタ、パッド、真空ゲージを用いて、エジェクタで吸着させます。 この時の真空圧力P1を読み取り、使用しているエジェクタの流量特性グラフより吸込流量を求め、これをワークの漏れ量とします。



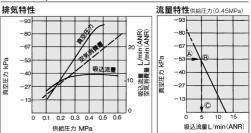
例題:供給圧力0.45MPa時においてエジェクタ(ZH07□S)で漏れのあるワークを吸着した場合、真空ゲージの圧力が-53kPaを示した。この場合のワークからの漏れ量を求めます。

〈選定手順〉

ZH07DSの流量特性グラフより-53kPaの場合の吸込流量を求めると、5L/min (ANR) となります。 (\triangle)

漏れ量≒吸込流量5L/min(ANR)

ZH07BS, ZH07DS



5 吸着応答時間の求め方

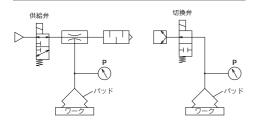
真空パッドでワークを吸着搬送する場合、吸着応答時間(供給弁または真空切換弁を作動後、パッド内真空圧力が吸着に必要な 真空圧力に到達するまでの時間)の目安を求めることができます。

吸着応答時間の目安は、計算式および選定グラフにより求めることができます。

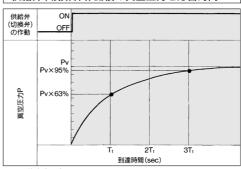
●供給弁(切換弁)作動後の真空圧力と応答時間の関係

供給弁(切換弁)作動後の真空圧力と応答時間の関係は以下のようになります。

真空システム回路



供給弁(切換弁)作動後の真空圧力と応答時間



Pv: 最終真空圧力

T₁: 最終真空圧力Pvの63%に到達する時間

T2: 最終真空圧力Pvの95%に到達する時間

●計算式により、吸着応答時間を求める方法

吸着応答時間T1. T2は下式によって求めることができます。

吸着応答時間 $T_1 = \frac{V \times 60}{O}$

吸着応答時間 T2=3×T1

配管容積 $V = \frac{3.14}{4} D^2 \times L \times \frac{1}{1000} (L)$

T1: 最終真空圧力Pvの63%に到達する時間(sec)

T2: 最終真空圧力Pvの95%に到達する時間(sec)

Q1:平均吸込流量L/min(ANR)

「平均吸込流量の求め方 ●エジェクタの場合

Q1=(1/2~1/3)×エジェクタ最大吸込流量L/min(ANR)

真空ポンプの場合

Q1=(1/2~1/3)×55.5×切換弁コンダクタンス[dm³/(s·bar)]

D: 配管内径(mm)

L:エジェクタおよび切換弁からパッドまでの長さ(m)

V:エジェクタおよび切換弁からパッドまでの配管容積(L)

Q2: エジェクタおよび切換弁からパッドまでの配管システムによる 最大流量

 $Q_2=C\times55.5L/min(ANR)$

Q:Q1,Q2のどちらか少ない流量 L/min(ANR)

C: 配管のコンダクタンス [dm³/(s·bar)]

配管のコンダクタンスについては、8.資料「チューブ内径別コンダクタンス(選定グラフ③)」から相当コンダクタンスを求めることができます。

●選定グラフにより、吸着応答時間を求める方法

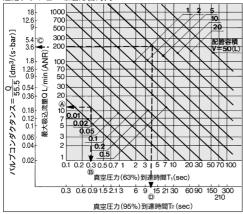
1. チューブの配管容積を求める

エジェクタおよび真空ポンプ側切換弁からパッドまでの配管容積を、8. 資料「チューブ内径別配管容積(選定グラフ②)」から求めます。

2. 吸着応答時間を求める

エジェクタ(真空ポンプ)を制御する供給弁(切換弁)を作動させて所定の真空圧力に到達するまでの吸着応答時間T1,T2は選定グラフ①から求めることができます。

選定グラフ① 吸着応答時間



※吸着応答時間より、逆にエジェクタのサイズや真空ボンプシステムの切換弁のサイズを求めることができます。

図の見方

例1: 真空エジェクタZH07□S最大吸込流量12L/min(ANR)を使用して配管容積0.02Lの配管システム内圧力を最終真空圧力の63%(T₁)まで排気する場合の吸着応答時間を求める場合。

〈選定手順〉

真空エジェクタ最大吸込量12L/min(ANR)と配管容積0.02Lの交点より、最高真空圧力の63%に到達する吸着応答最間T₁が求められます。 (選定グラフ①の@→⑧の順序) T₁≒0.3秒

例2: コンダクタンス3.6[dm³/(s·bar)]のバルブを使用して5Lのタンク内圧力を最終真空圧力の95%(T_2)まで排気する場合の排気応答時間を求める場合。

〈選定手順〉

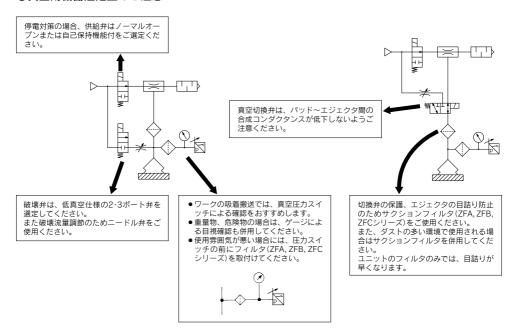
バルブコンダクタンス3.6[dm³/(s·bar)]と配管容積5Lの交点より、最終真空圧力の95%に到達する排気応答時間(T_2)が求められます。 (選定グラフ①のC)の順序) T_2 = 12 **秒**

「6」真空用機器選定上の注意事項と当社からの提案

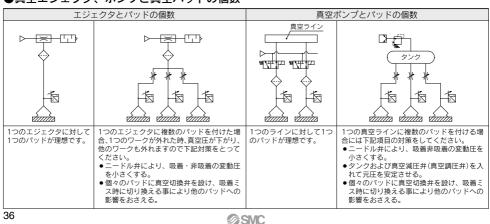
●安全対策

●停電、空気源停止にともなう真空圧力低下に対する安全設計を実施してください。 特に、ワークが落下して危険と考えられる場合は、必ず落下防止の対策をお願いします。

●直空用機器選定上のご注意



●真空エジェクタ、ポンプと真空パッドの個数



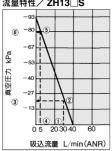
●真空エジェクタ選定、使用上のご注意

エジェクタ選定上のご注意

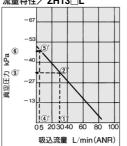
エジェクタの流量特性は、高真空タイプ(Sタイプ)と大流量タイプ(Lタイプ)で異なります。

特に漏れ量のあるワークを吸着する場合は、真空圧力にご注意のうえ ご選定ください。

高真空タイプ 流量特性/ ZH13□S





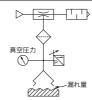


上図に示す様に漏れ量によって真空圧力が異ります。

漏れ量が30L/min(ANR)の場合、真空圧力はSタイプで-20kPa(① \rightarrow 2 \rightarrow 3)、Lタイプで-33kPa(① \rightarrow 2 \rightarrow 3)、Lタイプで-33kPa(① \rightarrow 2 \rightarrow 3))漏れ量が5L/min(ANR)の場合、真空圧力はSタイプで-80kPa(② \rightarrow 6 \rightarrow 6 \rightarrow 6)、Lタイプで-47kPa(③ \rightarrow 6 \rightarrow 6 \rightarrow 6)となり、漏れ量が30L/min(ANR)ではLタイプの方が、漏れ量が5L/min(ANR)ではSタイプの方がそれぞれ高い真空圧力を得ることができます。

従って選定に際し、高真空タイプ(Sタイプ)、大流量タイプ(Lタイプ) の流量特性をご確認のうえ、最適なタイプをご選定ください。

エジェクタノズル径選定上のご注意

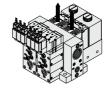


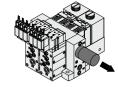
ワークとパッド間の漏れによる漏れ 量が多く、吸着が不完全な場合や吸 着搬送時間を短かくしたい場合には エジェクタノズル径の大きいものを ZH, ZR, ZLシリーズよりご選定くだ さい。

マニホールド使用上のご注意

個別排気の場合

集合排気の場合





エジェクタマニホールドで同時作動連数が多い場合、サイレンサ内蔵型かポート排気型としてください。

エジェクタマニホールドで連数が 多く集合排気の場合は、両側にサ イレンサを取付けてください。配 管で屋外等に排気する場合には、 配管による背圧がエジェクタに影 響しないように配管径を大きく し、背圧が5kPa以下となるよう にしてください。

●真空エジェクタは、ある一定の供給圧力において排気から間欠音(異音)が発生して真空圧力が一定にならないことがあります。この状態で使用しても真空エジェクタの機能上は問題ありませんが、間欠音が気になる場合や、真空圧力スイッチの動作への影響が考えられる場合には、真空エジェクタの供給圧力を少しずつ下げるか上げるかして間欠音が発生しない供給圧力範囲でご使用ください。

●真空エジェクタの供給圧力

真空エジェクタは、標準供給圧力での使用を推奨します。

真空エジェクタは、標準供給圧力時に、最高真空圧力、最大吸込流量が得られ、吸着応答時間が向上する等のメリットがあります。省エネルギーの観点からも標準供給圧力で使用することが最も効率的です。過剰な供給圧力で使用するとエジェクタの性能が低下しますので、標準供給圧力でのご使用を推奨いたします。

●真空発生のタイミングと吸着確認

A. 真空を発生させるタイミング

真空パッドが下降しワークに接してから真空を発生させると、バルブの開閉時間が加算されます。また、真空パッドの下降検出用スイッチの作動タイミングにばらつきがありますので、真空を発生させるタイミングが遅れる可能性もあります。

これらの問題を解決するため、真空パッドが下降してから真空を発生させるのではなく、真空パッドが下降を開始する 段階から予め真空発生状態にしてワークに近づけ、ワークを吸着する方法を推奨します。ワークが極端に軽い場合には 位置がずれることがありますので、ご確認をお願いします。

B. 吸着確認について

ワーク吸着後に真空パッドを上昇させる場合、真空圧カスイッチによる吸着確認信号が検出された後に、真空パッドを上昇させてください。

タイマ等によるタイミングで真空パッドの上昇動作を行うと、ワークの取り残しが発生する恐れがあります。

一般的な吸着搬送においては、作動ごとに真空パッドやワークの位置が変化するため、吸着に要する時間も微妙に変化 します。したがって、吸着後の動作は吸着完了の確認を真空圧力スイッチ等で行ってから次の動作に移行するシーケン スを設定してください。

C. 真空圧カスイッチの設定圧力

真空圧力スイッチの圧力設定値は、ワークを持ち上げるのに必要な真空圧力を算出し、適切な値に設定してください。 必要以上に高い設定圧力にすると、ワークが吸着している状態においても吸着確認ができずに吸着エラーと認識してし まうことがあります。

また、真空圧力スイッチの設定値は、ワーク移動時の加速度や振動を十分考慮する必要はありますが、ワークが確実に 吸着できる範囲で極力低い値に設定することを推奨します。真空圧力スイッチの設定値を下げることにより、ワーク上 昇までの時間が短縮されます。また、吸着できていないことを検知する訳ですから、それを判別できる圧力にすること が重要です。

真空圧力スイッチ(ZSEシリーズ) フローセンサ(PFMVシリーズ) 真空用圧力計(GZシリーズ)

ワークを吸着および搬送する際は、なるべく真空圧力スイッチによる確認(特に重量物、危険物の場合は圧力計による目視確認と併用) を行ってください。

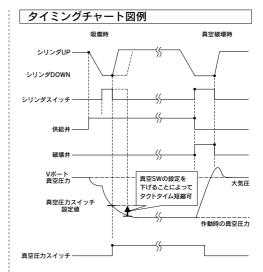
吸着ノズルがø1程度の場合

エジェクタ、真空ボンブの能力により、ON/OFFの応差が小さくなります。このような場合は設定最小単位の細かいデジタル圧力スイッチZSE10、ZSE3OAまたは流量検知のフロースイッチを使う必要があります。

- 注) 吸引能力の大きな真空発生器の場合検知できなくなる場合もありますので適切な機器選定が必要です。
 - 応差が小さいため真空圧を安定させる必要があります。



詳細につきましてはBest Pneumatics No.®をご参照ください。



●直空機器におけるダスト処理

- 真空機器はワークだけでなく周囲のダストなども機器の内部に吸込むため、ダストの侵入を防ぐことが他の空気圧機器より も必要になります。当社の真空機器はフィルタ付のものもありますが、大量のダスト等がある場合には、別途フィルタを追 加する必要があります。
- ●また、油や接着剤等の蒸発物質を吸入すると、機器の内部に蓄積し問題が発生する可能性があります。
- ●基本的には、真空機器にダストが入り込まないような配慮が必要です。
 - ①ダストを吸引しないよう、環境およびワーク近傍の状態を清浄に保つようお願いします。
 - ②実際のご使用の前に、ダストの量と種類を検討していただき、必要に応じて配管中にフィルタ等を設置するようお願い します。
 - ③使用前に試験を行い、使用条件をクリアできることを確認してからご使用ください。
 - ④汚れ具合に応じて、フィルタのメンテナンスをお願いします。
 - ⑤フィルタの目詰まりは、吸着部分とエジェクタ部の圧力差を生じ、真の吸着確認ができなくなりますので注意が必要です。

サクションフィルタ(ZFA, ZFB, ZFCシリーズ)

- ●真空側回路には切換弁の保護、エジェクタの目づまり防止のため、サクションフィルタの使用をおすすめします。
- ダストの多い環境で使用される場合、ユニットのフィルタでは、目詰りが早くなるため、ZFA, ZFB, ZFCシリーズとの併用をおすすめします。

真空ライン用機器選定上のご注意

エジェクタ/真空ポンプの最大吸込流量に合せて、サクションフィルタの容量、切換弁等のコンダクタンスを決定してください。コンダクタンスは下式によって求めた値以上としてください。(真空ライン中で機器を直列に接続する場合は、コンダクタンス合成を行ってください。)

 $C = \frac{Q_{max}}{55.5}$

C: コンダクタンス [dm³/(s·bra)]

Qmax:最大吸込量L/min(ANR)

7 真空用機器の選定例

●半導体チップの搬送

選定条件:①ワーク : 半導体チップ

寸法:8mm×8mm×1mm、質量:1g

②真空側配管長:1m

③吸着応答時間:300msec以下

1. 真空パッドの選定

①ワークの大きさから、パッドの径を4mm(1個)とします。

②P.28の計算式から、リフト力を確認します。

計算結果から、-3.0kPa以上の真空圧力であればワークを吸着可能と判断できます。

③ワークの形状および種類から、

パッド形状:平形溝付 パッド材質:シリコーンゴム

を選びます。

④以上の結果から、真空パッドの品番はZP3-04UMSとなります。

2. 真空エジェクタの選定

①真空側配管容積を求めます。

チューブの内径を2mmと仮定すると、配管容積は次のとおりです。

 $V=\pi/4 \times D^2 \times L \times 1/1000 = \pi/4 \times 2^2 \times 1 \times 1/1000$ =0.0031L

②吸着時の漏れ(QL)はないものとして、P.33の計算式から、吸着応答時間を達成させるための平均吸込流量を求めます。 $Q=(V\times60)/T_1+Q_L=(0.0031\times60)/0.3+0=0.62L$

P.33の計算式から、最大吸込流量Qmaxは

 $Q_{\text{max}} = (2 \sim 3) \times Q = (2 \sim 3) \times 0.62$ = 1.24 \sim 1.86L/min(ANR)

となり、真空エジェクタの最大吸込流量から、ノズル径0.5が使用可能と判断できます。

使用する真空エジェクタをZXシリーズとすると、代表型式ZX105□が選定できます。

(使用条件に合せて、使用する真空エジェクタのフル品番を決定してください。)

3. 吸着応答時間の確認

選定した真空エジェクタの特性から、応答時間の確認を行います。

①真空エジェクタZX105□の最大吸込流量は5L/min(ANR)ですので、P.34の計算式から、平均吸込流量Q1は、次のようになります。

Q1=(1/2~1/3)×エジェクタの最大吸込流量 =(1/2~1/3)×5=2.5~1.7L/min(ANR) となります。

②次に、配管による最大流量 Q_2 を求めます。配管のコンダクタンスCは、選定グラフ③から C=0.22が求まります。P.34の計算式から配管による最大流量は次のようになります。 $Q_2=C\times55.5=0.22\times55.5=12.2L/min(ANR)$

③**0**2より**0**1が小さいので、**0**=**0**1となります。

よって、吸着応答時間は、P.34の計算式より

 $T=(V\times60)/Q=(0.~0031\times60)/1.~7=0.109$ 秒

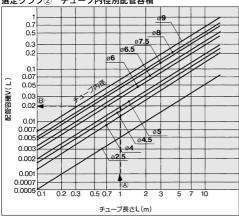
=109msec

となり、要求仕様である300msecを満足することが確認できました。

8 資料

●選定用グラフ

選定グラフ② チューブ内径別配管容積



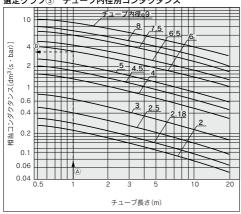
図の見方

例:チューブ内径ø5、チューブ長さ1mのチューブの容積を求める場合。

〈選定手順〉

横軸チューブ長さ1mと、チューブ内径ø5の線の交点より、左に延長し縦軸の配管容積≒0.02Lが求められます。 配管容積≒0.02L

選定グラフ③ チューブ内径別コンダクタンス



図の見方

例:チューブサイズø8/ø6, 1mの場合

横軸チューブ長さ1mとチューブ内径ø6の線の交点より、左に延長し縦軸の相当コンダクタンス≒3.6[dm³/(s·bar)]が求められます。 相当コンダクタンス≒3.6[dm³/(s·bar)]

●真空用機器用語

用語	内容			
(最大)吸込流量	エジェクタが吸い込む空気の流量。最大は真空ポートに何も接続しない状態で大気を吸い込む流量。			
最高真空圧力	エジェクタが発生する真空圧力の最大値。			
空気消費量	エジェクタが消費する、圧縮空気の流量。			
標準供給圧力	エジェクタを使用するのに最適な供給圧力。			
排気特性	エジェクタの供給圧力を変化させた時の真空圧力と吸込流量の関係。			
流量特性	エジェクタの標準供給圧力での真空圧力と吸込流量の関係。			
真空用圧力スイッチ	ワークの吸着を確認するための圧力スイッチ。			
(空気)供給弁	エジェクタへ圧縮空気を供給する弁。			
(真空)破壊弁	吸着パッド等の真空状態を解除するため、正圧または大気を供給する弁。			
流量調整弁	真空破壊を行う際、供給する空気の量を調整するための弁。			
パイロット圧力	エジェクタのバルブを操作する圧力。			
外部破壊	エジェクタユニットからではなく、外部より空気を供給して真空破壊を行うこと。			
真空ポート	真空を発生するポート。			
排気ポート	エジェクタで使用した空気と、真空ポートより吸い込んだ空気を排出するポート。			
供給ポート	エジェクタが使用する空気を供給するポート。			
背圧	排気ポート内部の圧力。			
漏れ	ワークとパッド、継手とチューブの間などから、真空通路側へ空気が入ること。漏れが生じると真空圧 力は低下する。			
応答時間	供給弁または破壊弁に定格電圧を印加してから、Vボート圧力が規定の圧力まで到達する時間。			
平均吸込流量	応答速度を求める時に使用する、エジェクタまたはポンプの吸込流量で、最大吸込流量の $1/2\sim 1/3$			
導電性パッド	静電気対策のため電気抵抗の低いパッド。			
真空圧力	大気圧以下の圧力を言う。圧力の表示は、大気圧を基準にした場合-kPa(G)で表し、絶対圧力を基準 にした場合kPa(abs)で表す。 一般的には、エジェクタ等の真空機器では-kPaが利用される。			
エジェクタ	圧縮空気をノズルから高速で噴射することにより、ノズル周辺の空気が吸引されて圧力が低下する現象を利用して、真空を発生させる装置。			
サクションフィルタ	エジェクタまたは真空ポンプまたは周辺機器に塵埃が侵入するのを防止するため真空通路中に設ける 真空用フィルタ。			



●真空吸着システムにおける問題点の対応策(トラブルシューティング)

状態、改善内容	要因	対応策
初期的吸着不良 (試運転時)	吸着面積が小さい (ワークの重さよりリフトカが小さい)	ワークの重さとリフトカの関係を再確認する ・吸着面積の大きな真空パッドを使用する ・真空パッドの個数を増やす
	真空圧力が低い (吸着面からの漏れ) (通気性のあるワーク)	吸着面からの漏れをなくす(減らす) ・真空パッドの形状見直し 真空エジェクタの吸込流量と到達圧力の関係を確認する ・吸込流量の大きな真空エジェクタを使用 ・吸着面積を増やす
	真空圧力が低い (真空配管からの漏れ)	漏れ箇所の修理
	真空回路の内容積が大きい	真空回路の内容積と真空エジェクタの吸込流量との関係 を確認 ・真空回路の内容積を減らす ・吸込流量の大きな真空エジェクタを使用
	真空配管の圧力降下が大きい	真空配管の見直し ・チューブは短く、太く(適切な径)
	真空エジェクタの供給圧力不足	真空発生状態における供給圧力を測定 ・標準供給圧力で使用する ・圧縮空気回路(ライン)の見直し
	ノズル、ディフューザの目詰まり (配管時の異物混入)	異物を除去する
	供給弁(切換弁)が作動していない	テスターで、電磁弁の供給電圧を測定 ・電気回路、配線、コネクタの見直し ・定格電圧範囲で使用する
	吸着時にワークが変形する	ワークが薄いため、変形して漏れる ・薄物吸着用パッドを使用する
真空到達時間がおそい (応答時間の短縮)	真空回路の内容積が大きい	真空回路の内容積と真空エジェクタの吸込流量との関係 を確認 ・真空回路の内容積を減らす ・吸込流量の大きな真空エジェクタを使用
	真空配管の圧力降下が大きい	真空配管の見直し ・チューブは短く、太く(適切な径)
	必要な真空圧力が高すぎる	バッド径の最適化などにより真空圧力を必要最低限にする エジェクタ等は真空圧力が低いほど吸込み量が多いパッ ド径を1サイズ大きくする等により必要真空圧力を低く し、吸込み量を増やす
	真空圧力スイッチの設定が高すぎる	適切な設定圧力にする
真空圧力の変動	供給圧力の変動	圧縮空気回路(ライン)の見直し (タンクの追加等)
	エジェクタの特性上、ある一定の条件におい て真空圧力が変動することがある	供給圧力を少しずつ下げるか上げるかして、真空圧力が 変動しない供給圧力範囲で使用する
真空エジェクタの排気から 異音(間欠音)が発生	エジェクタの特性上、ある一定の条件におい て間欠音が発生することがある	供給圧力を少しずつ下げるか上げるかして、間欠音の発 生しない供給圧力範囲で使用する
マニホールドタイプの真空 エジェクタで、真空ポート よりエアが漏れる	エジェクタの排気エアが、停止中の他のエジェクタの真空ポートに回りこむ	チェック弁付仕様の真空エジェクタを使用する (チェック弁付エジェクタの品番は、当社までお問合せく ださい)



状態、改善内容	要因	対応策
経時的吸着不良 (試運転時には吸着していた)	サクションフィルタの目詰まり	フィルタの交換 設置環境の改善
	吸音材の目詰まり	吸音材の交換 供給(圧縮)空気回路へのフィルタ追加 サクションフィルタの追加設置
	ノズル、ディフューザの目詰まり	異物を除去する 供給(圧縮)空気回路へのフィルタ追加 サクションフィルタの追加設置
	真空パッド(ゴム)の劣化、摩耗	真空パッドの交換 真空パッド材質とワークの適合性確認
ワークが離脱しない	破壊流量不足	破壊流量調整ニードルを開く
	真空圧力が高い 真空圧力における押付け力がパッド(ゴム)部 に生じている	真空圧力を下げる リフト力が不足しワーク搬送に支障が生じる場合は、パ ッド数量を増やす等の見直しを行う
	静電気による影響	導電性パッドを使用する
	使用環境やパッドの摩耗によるゴムの粘着性 増加 ・ゴムの一般特性として粘着性がある ・真空パッド(ゴム)の摩耗により粘着性も増 加する	バッドの交換 バッド材質の見直しおよびバッド材質とワークの適合性 確認 バッドの形状の見直し (リブ付/溝付/ブラスト付への変更) バッド径や使用数量等の見直し

●不適合事例

問題	原因	対策
テスト時には問題がなかつ たが、本運用を開始したら 吸着が不安定になった。	・真空スイッチの設定が適正でない。供給圧力 が不安定で、真空圧力が設定値に満たない。 ・ワークと真空パッド間の漏れがある。	1) ワーク吸着時に、真空機器の圧力(エジェクタの場合、 供給圧力)を、必要な真空圧力になるように設定し、 真空スイッチの設定圧力を、吸着に必要な真空圧力に 設定してください。 2) テスト時において漏れがあったが、吸着に支障が起こる レベルではなかった事が考えられます。真空エジェクタ 真空パッド形状、径、材質等の見直しを行ってください。 真空パッドの見直しを行ってください。
バッド交換を行つたら、吸 着が不安定になった。	・初期の設定条件が変更(真空圧力、真空スイッチの設定、パッドの高さ方向の位置等)されている。使用環境下において、パッドに厚耗・ヘたり等が生じたために設定変更を行った。 ・パッド交換時に、ねじ接続部および、パッドとアダブタの接合部からの漏れが生じている。	1)使用条件(真空圧力・真空スイッチの設定圧力、パッド の高さ方向設定位置等)の見直しを行ってください。 2)再度、接合部の見直しを行ってください。
同じワークを同じパッドで吸 着しているが、吸着できる 場所とできない場所がある。	・ワークと真空パッド間に漏れがある。 ・空気圧回路において、シリンダ・電磁弁等 とエジェクタの供給回路が同一系統にあ り、同時使用時に供給圧力が低下する。(真 空圧力が上がらない) ・ねじ接続部および、パッドとアダプタの接 合部からの漏れが生じている。	1) パッド径、形状、材質、真空エジェクタ(吸込流量)等の見直しをしてください。 2) 空気圧回路の見直しを行ってください。 3) 再度、接続部の見直しを行ってください。
ベロウバッドの蛇腹部に貼付き現象、復元遅延が発生する。 (早期に発生する場合あり)	真空パッド(ベロウ形)のライフアウトのモードとして、屈曲部のヘタリ、摩耗、ゴムの貼付き等をもっている。	使用条件下におけるライフアウト。 十分検証を行い、交換時期を設定してください。 ・パッド交換 ・真空パッド径、形状、材質等の見直し。 ・真空パッドの使用数量の見直し。
	必要以上の真空圧力にて使用しており、真空 圧力における押付け力がパッド(ゴム)部に生 じている。	真空圧力を下げる。 真空圧力を下げる事により、リフト力が不足しワーク搬 送に支障が生じる場合は、パッド数量を増やす等の見直 しを行う。
	下記のような動作により、蛇腹屈曲部に負荷がかかり、ゴムの貼付き、パット復帰力が低下することがある。 ・パッド変位量 (稼働範囲)以上の押付け、外部負荷。 ・ワーク保持/特機動作 ワーク保持/特機動作 ワーク保持/状態で10秒以上の待機動作。 ※10秒以内であつても、使用環境、使用方法によつては、貼付き現象、復元遅延が早期に発生する場合がある。 また、ワーク保持状態時間が長くなると、復帰時間が長くなり、寿命も短くなる。	バッドへの負荷低減を行う。 ・バッド変位量(稼働範囲)以上の外部負荷がかからないように、設備の見直しを行う。 ・ワーク保持/待機動作を避ける。 お客様のご使用条件におけるライフアウト。 十分検証を行い、交換時期を設定してください。
製品(バッド/バッファ等) の交換を行ったら、前回よ り寿命が短くなった。	・製品のセッティングが変わった。 ・チューブが引っ張られている。 偏荷重 (回転方向) が増加。 ・搬送速度が上がった。 ・搬送ワークが変わった。 (形状/重心/重量等) ・取付姿勢が斜めになった。 ・作業環境変化。 ・バッファ(取付用ナット)が、適正トルクで 締められていない。	使用開始時における問題(吸着できない)でない場合は、お客様仕様条件におけるライフアウトの可能性があります。 配管および作業(仕様)の見直しを行ってください。また、現状の搬送ワーク/仕様に合っていない事が考えられます。 製品の再選定(パッド形状、径、数量、吸着パランス含む)を、ご検討ください。
使用中に、アダプタからパッドが抜ける。 パッドに亀裂が発生する。	下記より、パッド(ゴム部)に負荷がかかった。 ・リフトカが足りない。 ・吸着パランスが悪い。 ・選定時に、搬送時の加速度による負荷が考慮されていない。	現状の搬送ワーク/仕様に合っていない事が考えられます。 製品の再選定(パッド形状、径、数量、吸着パランス含む) を、ご検討ください。

問題	原因	対策
ゴム(NBR/導電性NBR) に クラック(ヒビ、亀裂等) が 入った	・オゾン環境で使用している。 ・イオナイザを使用している。 ※押当て、使用真空圧力が高い等により、早 期に現象が発生し易くなる。	使用環境の見直しを行う。 使用材料の見直しを行う。
吸着跡対策パッドを使用したが、早期に先端部が摩耗する。 (吸着跡が付く)	クリーン度が高いワークを吸着した場合、滑り現象が発生し難い状態となり、バッド先端 部に負荷(衝撃)がかかる。	・フッ素樹脂焼付パッド ・クリーンアタッチメント を使用する。
吸着跡対策パッドを使用したが、吸着跡が付く。	・使用目的が違う。 (跡が、変形による跡であった) ・装置取付時によるパッドの汚れ(洗浄不足)、使用環境における埃等	ワークに付着した跡を確認する。 1) ワーク変形(しわ)による跡。 バッド径、形状、材質、真空エジェクタ(吸込流量)等 の見直しを行う。 2) ゴムが摩耗したことによる跡。 バッド径、形状、材質、真空エジェクタ(吸込流量)等 の見直しを行う。 3) 成分移行による跡。 吸着跡を、布、ウエス等で拭き(溶剤を使用しない)と り、吸着痕が消えた(薄くなった)場合は、バッドが汚 れたことが考えられるため洗浄を行う。 カタログ記載の「吸着跡対策パッド」の洗浄方法を参照。

■ナットにて取付けると、バッファの動作がスムーズでない、摺動しない現象が生じる。

【発生要因】

- ・バッファを取付ける際の、ナット締付トルク値が高い。
- ・摺動部に、ゴミの付着、または、キズの発生。
- ・ピストンロッドに横方向荷重がかかり、偏摩耗が生じている。

【処置】

推奨締付トルクにて組付けを行ってください。

使用条件・使用環境により、ナットが緩む場合があります。定期的にメンテナンスを行ってください。

7P/7P2用

E1.7E1 E/II				
	ナット締付トルク			
パッド径	製品品番	取付ねじ径	プラド神山 バルン	
ø2∼ø16 2004∼4010	ZP□(02~08)U,B□ ZP□(10~16)UT,C□ ZP□(2004~4010)U□	M8×1	1.5~2.0N·m	
ø10~ø32	ZP□(10~32)U,C,B,D□ ZP□(10~16)F□	M10×1	2.5~3.5N·m	
ø 20∼ ø 50	ZP□(40,50)U,C,B,D□ ZP□(20~50)F□	M14×1	6.5∼7.5N·m	

ZP3用

製品仕様			ナット締付トルク
パッド径	製品品番	取付ねじ径	ノット細切トルン
ø1.5∼ø3.5	ZP3-%(015~035)U%	M6×0.75	1.5~1.8N·m
		M8×0.75	2.0~2.5N·m
ø4~ø16	ZP3-%(04~16)UM,B%	M8×0.75	2.0~2.5N·m
	ZP3-** (10~16) UM, B**	IVIO ^ U. / 5	

高荷重パッド

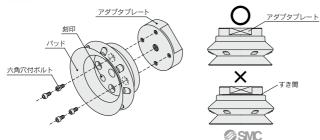
1016 = 1 1					
製品仕様					ナット締付トルク
パッド径	製品品番		取付ねじ径	バッファボディ材質	ノントがパリトルン
	ZP□(40/50)H□	J		アルミニウム合金	9.5~10.5N·m
ø40, ø50	ZP□(40/50)HB□	J JB 🗆 JF	M18×1.5	黄銅	28~32N·m
	ZP(40/50/HB	JF		構造用鋼	48~52N·m
	ZP□(63/80)H□	J		アルミニウム合金	9.5~10.5N·m
ø63, ø80	ZP□(63/80)HB□	J JB 🗆 JF	M18×1.5	黄銅	28~32N·m
	ZF(03/80/11B	JF		構造用鋼	48~52N·m
	ZP□(100/125)H□	J		アルミニウム合金	9.5~10.5N·m
ø100, ø125	ZP□(100/125)HB□	J JB 🗆 JF	M22×1.5	黄銅	45~50N·m
	ZFLI(100/123/HBLI	JF		構造用鋼	75~80N·m

高荷重首振りパッド

製品仕様				ナット締付トルク		
パツ	ソド径	製品品番		取付ねじ径	バッファボディ材質	ノントがいたアン
~40) ~E0	ZP2-□F(40/50)H□	JB _	M18×1.5	黄銅	28~32N·m
Ø40), ø 50	ZP2-□F(40/50)HB□	IVITO A 1.5	構造用鋼	48~52N·m	
	-00	ZP2-□F(63/80)H□	JB _	M22×1.5	黄銅	45~50N·m
ø 63 , ø 80	ZP2-□F(63/80)HB□	JB JF □	MIZZ X 1.5	構造用鋼	75~80N·m	
-100	-105	ZP2-□F(100/125)H□	JB _	M22×1.5	黄銅	45~50N·m
Ø100), ø 125	ZP2-□F(100/125)HB□	JFI □	WIZZ X 1.5	構造用鋼	75~80N·m

パッドの交換方法

吸着面側の方から六角レンチでボルトをはずし新しいバッドをボルトでアダプタブレートとバッドのすき間がなくなる程度に締め込んでください。



●真空パッドの交換時期について

真空パッドは消耗品ですので、定期的な交換を行って ください。

真空パッドは使用していきますと吸着面が摩耗し、外形部が徐々に小さくなっていきます。パッド径が小さくなる事によりリフトカは減少しますが、吸着は可能です。

真空パッドの交換時期を推測する事は大変困難です。それは、表面相さ、使用環境(温度、湿度、オゾン、溶剤等)、使用条件(真空圧力、ワーク重量、真空パッドのワークへの押付け力、パッファの有無等)等に影響されるためです。

(ベロウ形においては、屈曲部のヘタリ、摩耗、ゴムの貼付き が発生する場合があります。)

従って、真空パッドの交換時期は、初回に使用していただい た状況下において、お客様にて真空パッドの交換時期を判断 してください。

また、使用条件・使用環境により、ボルトが緩む場合があります。 定期的にメンテナンスを行ってください。

高荷重パッド交換時の推奨ボルト締付トルク

	製品仕様				
パッド径	製品品番	ボルト	トルク		
ø 40, ø 50	ZP(40/50)H□ ZP(40/50)HB□	M3×8	0.7~0.9N·m		
ø 63 , ø 80	ZP(63/80)H□ ZP(63/80)HB□	M4×8	0.9~1.1N·m		
ø100, ø125	7100, ø 125 ZP(100/125)H□ ZP(100/125)HΒ□		2.3~2.7N·m		

推奨締付トルクにて組付けを行ってください。